

令和6年度三田市高校生議会 質 問 書

【質 問 者】 1 2 番 兵庫県立有馬高等学校 2年 名手 奏太 (なで そ
うた)

【担 当 課】 産業振興部 農業振興課

【答弁予定者】 副市長

【質 問 事 項】 三田市の農業活性化について

【質 問 内 容】

1 2 番 高校生議員の兵庫県立有馬高等学校 2年の名手 奏太です。

私からは三田市の農業の活性化について質問します。

今の三田市の特色の一つである農業を上手くいかせていないと考えています。全国的にも農家を目指す人や農業に興味をもつ人は年々減少傾向にあり、三田市の農業人口も停滞している状態にあります。私は三田市の良さである農業を活性化することが三田市の活性化につながると考えています。

そこで、私は三田市が農業活性化イベントを実施することを提案いたします。特に若者を中心とした農業体験、各地方からの農業研修です。農業体験では、三田市内の農家の方々にご協力いただき、サポート体制を整えます。参加してくれた人には三田で採れた野菜や果物などをプレゼントし、三田市の農業の良さを知ってもらいます。農業研修は、他の地方の農業に関心を持っている人を募集して、一定期間三田市で暮らしながら農業について知ってもらうことで、三田市で農業をする人を増やすことにつながれると考えます。

これらのような取り組みが、私たち若者が農業に関心を持つことにつながると思いますし、今のままでは三田市の農業が減退していくと考えます。実際に三田市で農業を体験することで、農業の良さを実感してもらえと考えます。

以上の三田市の農業活性化について、また三田市としてこれからどのように農業を盛り上げていく方法について、市の考えをお聞かせください。

【答 弁 内 容】

私からは、議員ご質問の「三田市の農業活性化について」お答えいたします。

三田は、肥沃な土やきれいな水、澄んだ^{ひよく}空気のもとで、多くの農畜産物が育まれています。議員におかれては、こうした豊かな自然環境の中で営まれる農業にたいへん関心を持たれ、将来を見据えた課題解決に向けたご提案をいただき有難うございます。

議員ご指摘のとおり、農業を目指す人や農業従事者が減少している全国的な傾向は、本市も同様であり、農業の担い手を育成し確保することが喫緊の課題となっています。

このため、市では「第5次三田市農業基本計画」において「農を楽しむ暮らしを広げる」ことを基本方針の1つに掲げ、都市住民等が農業体験を通じて楽しみ、農村との交流を深めてもらうグリーンツーリズムを推進しており、農業を始める人や関わる人を増やすことで、農業・農村の活性化に繋げていく取り組みを進めています。

具体的には、農業に触れることを目的として、田植えや稲刈りを楽しむ1日農業体験や、農作業等を一定期間実践してもらうインターンシップ研修、また、本格的に農業経営を目指す人には、プロ農家のもとで栽培技術を習得することができる制度もあります。

今後、こうした取り組みを通じて、農業が減退に至らないよう、若者の農業に対する関心を高める取組みを積極的に進め、就農につなげていく施策の展開を図るとともに、議員ご指摘の農業を上手く生かせていないという点を十分に踏まえ、毎年開催し、議員が在籍されている有馬高等学校も参画いただいている「さんだ農業まつり」などのイベントやSNSなどの媒体を通じて、三田の農業の魅力を発信していく取り組みの両輪で進めてまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

議員におかれても、農業への関心を更に高めていただき、将来は、ぜひ三田の農業を支える一人となっていただけるよう期待しておりますのでよろしくようお願いいたします。